

イスラエル経済月報（2021年4月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	7
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 金融政策（Monetary Policy）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	12
スタートアップ投資 投資額は記録を更新するも、ブーム終焉を警戒	
ハイテク ハイテク産業は慢性的な人手不足にあえいでいる	
日本-イスラエル 経済関係.....	14
自動車 日野自動車とREE社と業務提携契約を締結	
エンジン TPRがAquarius Engines社に出資	
デジタルマーケティング サン電子連結子会社Cellebrite社がSPAC上場へ	
IT Redis Labs社が1.1億ドル資金調達。ソフトバンクも参加。	
IT サムライインキュベーターがFugu Risk社に出資	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	19
観光 IMTM2021（2021年2月9日～6月16日、オンライン）	
NEW!医療/歯科 InnoDentech Israel（2021年6月15～16日、オンライン）	
サイバーセキュリティ Cyber Week（2021年6月19～22日、テルアビブ）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 公表情報から Globes 紙が集計したデータによると、3月のイスラエル・スタートアップの資金調達額は28億ドルに達する。1月14.4億ドルの約2倍。3月までの累計調達額は53億ドルで、既に2020年全体の半分超。
- 4日 ハイファ港及びアシュドッド港で荷揚げに長い遅れ。両港で50隻が荷揚待ちで、後者では約10日の待機が発生。イスラエルをスキップする海運企業も。
- 4日 紅海沿岸のリゾート地エイラットでeスクーターを運営する入札をBirdとLimeが落札。各100台を配備する。同地では既にイスラエルの同業Leoが事業を展開中。
- 4日 イスラエルのユニコーン企業への株式投資に特化したUnic-Techに、Wix社のCEO Avishai Abrahami氏が投資するとともに経営に参画。
- 5日 イノベーション庁は、認定インキュベーター3者を募集する公募を開始。認定インキュベーターが支援するスタートアップには85%の助成金が付与されるほか、インキュベーター自身の設備購入にも助成。認定期間は5年（3年の延長可）。
- 5日 イスラエルのバイオテック・製薬企業に投資するIsrael Biotech Fundが、2号ファンドを1.12億ドルでクローズしたと発表。
- 5日 イスラエルの医療用大麻製品製造最大手Panaxia社が、EU向けに製品を初輸出。同社はEUへの医療用大麻製品輸出に必要な規格EU-GMPをイスラエルで初取得。
- 5日 イスラエル化学企業ICL社が、Indian Potash社と1トン280ドルで60万トンのカリウムを販売する契約を締結。5万トンの追加オプション付き。
- 5日 特別教育が必要なディスクレシアの生徒向けのAIデジタルプラットフォームを開発するイスラエル企業AmplioSpeech社が、2,700万ドルを調達。
- 5日 米ゲーム大手DraftKings社がイスラエルの同業BlueRibbon Software社を買収。金額は非開示。後者は2017年創業で、テルアビブに拠点を置き、従業員15名。
- 5日 UAEへの隔離なしでの入国ができる国のリストに、イスラエルが追加。
- 6日 IMFは、2021年のイスラエルの経済成長率の予測を4.1%（1月時点の予測）から5%に上方修正。また、2022年の予測を4.3%とした。
- 6日 イスラエル中央銀行が公表したレポートによると、コロナ禍による現在までの経済損失はGDPの約5%に当たり、2008年リーマンショックの4倍、2001年のドットコム・バブル崩壊と同程度。課題は財政赤字拡大と失業者の増加と分析。
- 6日 UAEエティハド航空が、アブダビ-テルアビブ間の定期便の就航を開始。週2便。
- 6日 イスラエルのMyHomeDoc社が、スマホに専用機器を繋ぐ形での遠隔医療サービスについて米FDAの承認を取得。EU及びイスラエルでの承認も取得済み。
- 6日 英国PEファンドEMK Capitalが、自転車等での移動中のワイヤレス通信システムを開発・販売するイスラエルのCardo Systems社を1.5億ドルで買収。
- 6日 大麻等規制の強い産業向けのデジタルマーケティングと規制対応ソリューションを開発するイスラエルのFyllo社が、シリーズBで3,000万ドルを調達。
- 7日 イスラエル中央銀行は、3月に20億ドルの外貨購入を実施したと公表。第1四半期の介入額は137億ドルで、今年用意した300億ドルの枠の約半分を既に使用。

- 7日 イスラエルのデータベース・ソフトウェア開発 Redis Labs 社がシリーズ G で 1.1 億ドルを調達。評価額 20 億ドル以上。米国 Tiger Global がリードし、ソフトバンクのビジョン・ファンド 2 も参加。
- 7日 イスラエルに研究開発拠点を置くシンガポールの小売分析 Trax 社が、シリーズ E で 6.4 億ドルを調達。評価額 20 億ドル。ソフトバンクのビジョン・ファンド 2 と BlackRock がリード。Sony Innovation Fund も参加。
- 7日 フォードがイスラエルの車載アプリスタートアップ Mappo 社と提携。これにより、運転手が音声制御によって文化・レジャー施設を探ることができるようにする。
- 7日 米フィッシング詐欺防止企業 Cofense 社が、イスラエルの同業 Cyberfish 社を買収。金額は非開示だが、約 1 億ドルと見られる。
- 7日 イスラエルの AI を用いた品質保証企業 Qualitest 社が、製薬・デジタルヘルスに特化したイスラエルの同業 Comply 社を買収。金額は非開示。
- 7日 オープンソースマネジメントを自動するサービスを開発するイスラエルの WhiteSource Software 社が、シリーズ D で 7,500 万ドルを調達。
- 7日 米国以外で最大規模である、イスラエルのサイバーセキュリティ関連イベント Cybertech Global がドバイで開催。両国の数百の官民組織が交流。
- 8日 昨年 12 月からとまっていたハイファ港の民営化プロセスが進展。クネセットの財務委員会が民営化を承認した。
- 8日 サン電子のイスラエルの連結子会社 Cellebrite 社が、SPAC 経由でナスダック上場へ。評価額は 24 億ドル。
- 8日 イノベーション庁は、仏 SPA と伊 FCA が合併したステランティスと MOU を締結。R&D Collaboration with Multinational Corporations プログラムの枠組みで、同社が関心があるイスラエル技術を探索する。
- 8日 イスラエルの V2X (Vehicle to Everything) チップ開発 Autotalks 社が、SPAC 経由でのナスダック上場に向け交渉中。評価額 15~20 億ドルの見込み。投資家には三井物産が含まれている。同社はノーコメント。
- 11日 分散型ワーク (distributed work) に特化したサイバーセキュリティ企業 Talon Cyber Security 社が、シードラウンドで Team8 等から 2,600 万ドルを調達。
- 12日 IVC Research Center 等のレポートによれば、2021 年第 1 四半期のイスラエルのテクノロジー企業への投資は計 54 億ドル。過去最高だった前 4 四半期比 89%増。
- 12日 財務省のレポートによれば、3 月末のイスラエルの 12 か月間の対 GDP 比財政赤字が 12.1%となり、2 月末の 12.4%から縮小。経済回復により歳入が増えたため。
- 12日 在イスラエル UAE 大使と Start-Up Nation Central が、二国間のイノベーション・起業に関する連携に向け、人的交流やアイデア共有のタスクフォースを設置する。
- 12日 米国とイスラエルのエネルギー省及びイノベーション庁は、エネルギーインフラのサイバーセキュリティに関する共同プロジェクトへの 600 万ドルの助成先を決定。
- 12日 イスラエルの自動車向け半導体企業 Valens Semiconductor 社が、評価額 10~12 億ドルでの SPAC 上場に向け交渉中。2006 年設立で、従業員 300 名。
- 12日 モービルアイが、配達用自動電気自動車を開発するシリコンバレーの創業 4 年のスタートアップ Udelv 社との協業を発表。モービルアイが自動運転システムを提供。

- 12日 イスラエルのロボット補助手術技術を開発する Memic Innovative Surgery 社が、シリーズ D で 9,600 万ドルを調達。2 月には米 FDA の承認も取得している。
- 13日 中央統計局が公表したデータによると、イスラエルの 2020 年 4 月時点の総人口は 932.7 万人。前年同期比 13.7 万人増。
- 13日 アブダビ投資事務所のテルアビブ事務所が正式にオープン。オープンに先立ち、イスラエルのヘルスケア及びバイオ製薬関連の複数企業とオンライン面談を実施。
- 13日 コロナ禍による世界的な中国からのコンテナの滞留・不足及びそれに伴う価格上昇により、今後イスラエルにおける電子機器や繊維製品の価格が上昇するおそれ。
- 13日 セカンダリー取引によってイスラエル人従業員等が手にした金額は、2021 年第 1 四半期で 20 億ドルに。前年全体の 15 億ドルを既に上回っている。
- 13日 エヌビディアがイスラエルで開発したデータ処理装置 (DPU) BlueField-3 DPU をシリコンバレーのイベントで披露。同社はイスラエルに 2,400 名の従業員を擁する。
- 13日 EV 向けモジュラー車体・車輪を開発するイスラエル企業 REE Automotive 社は、カナダのモビリティ技術企業 Magna International 社と戦略的協業契約を締結。
- 13日 1,000 万 NIS(約 300 万ドル)の投資を集めた SNS アプリ企業 Meetey 社の元 CEO Tomer Yosef 氏に対し、ロッド地裁は詐欺と横領で 38 か月の禁固刑を判決。
- 18日 中央統計局の発表によると、3 月のイスラエルにおける求人数が 11.2 万人と過去最高に。経済回復により、飲食店やレジャー産業で求人が増加。
- 18日 シュタイニッツ・エネルギー相が、2050 年までに温室効果ガスの排出を 80%減らす計画を発表。2025 年までに石炭発電所も全て閉鎖するとした。
- 18日 アブダビ投資事務所とイスラエル製造社協会が、両国間の連携及びビジネス機会創出のための MOU に署名。
- 18日 中国の吉利汽車 (Geely) の EV が、モービルアイとの戦略的提携に基づく実証事件の一環として、イスラエルの道路を既に走っていることが判明。
- 18日 イスラエルのノンバンク・オンライン消費者金融 Credit24 社が、テルアビブ証券取引所 (TASE) に上場予定。評価額 4,900 万ドル。TASE には、過去 6 か月でノンバンク融資企業が 5 社上場している。
- 19日 Start-Up Nation Central の CEO Eugene Kandel 氏が辞職し、イスラエルのテクノロジー・イノベーションに関する新たな研究機関の共同会長に就任する。
- 19日 イスラエルの AI を用いた品質保証企業 Qualitest 社が、法律・銀行等の分野に特化した米国のソフトウェア品質保証企業 Olenick & Associates 社を買収。
- 19日 イスラエルの熱可塑性物質開発 UBQ Materiaks 社が、イスラエルの樹脂製消費者製品企業 Keter Group と、ガーデニング用品生産に向け提携。
- 19日 WeWork がイスラエルでのシェアオフィス事業をフランチャイズ方式に切り替え、イスラエルの不動産会社 Ampa Group と契約すると発表。
- 20日 イスラエルの医療技術の日本販売及び日本からの投資機会創出に特化したコンサル企業 Network in Motion 社が、イスラエルの大手病院ハダッサ病院の技術移転会社 Hadasit Medical Research Services and Development 社と戦略的提携を発表。
- 20日 財務省によると、イスラエルの 2020 年の政府債務は 20%増の 1 兆 NIS となった。新型コロナウイルス危機に関連した支援策が主因。

- 20日 マイクロソフトがイスラエルにデータセンター開設すると発表。当初は2021年内と発表したが、2日後に2022年設置予定に修正。
- 20日 イスラエルのウェブサイト・ナビゲーション企業 WalkMe 社が、イスラエルの企業検索スタートアップ Zest 社を買収。
- 20日 先月2.1億ドルの資金調達によってユニコーン企業の仲間入りを果たしたイスラエルのサイバーセキュリティ企業 Orca 社の売上が、わずか400万ドルと判明。同じく、先月1.3億ドルを調達しユニコーンになった Wiz 社も売上300万ドル弱。
- 20日 大気汚染状況をモニターにするイスラエルのスタートアップ BreezoMeter 社が2,500万ドルを調達。イスラエルのPE企業 Fortissimo Capital がリード。
- 20日 カスタマーサービスを改善するイスラエル企業 Loris.AI 社が、シードラウンドで510万ドルを調達。Vertex Ventures がリード、LinkedIn の前 CEO も参加。
- 21日 スーダン政府と議会は、イスラエル・ボイコット法の廃止を最終承認。これまで禁じられていたイスラエルとの正式国交樹立や経済取引が可能となる。
- 21日 イスラエル国防軍を含むイスラエル全省庁のデジタルデータをクラウドに移管する入札を、アマゾンとグーグルが落札。データセンターは国内に構築される。
- 21日 国家サイバー総局は、ホスティングサービス提供事業者のサイバーセキュリティの取組をランク付けする。高ランクの事業者が市場から評価されるようにする狙い。
- 21日 イスラエルと英国が、ワクチン接種済者の相互訪問に関する検討を開始。
- 21日 イスラエルのコンテンツマーケティング企業 OutBrain 社が、米国でのIPOに向け、米国証券取引委員会に準備書類を提出。20億ドル超の評価額が期待される。
- 21日 欧州等でメガソーラー発電所を建設中のイスラエルの EcoEnergy 社が、テルアビブ証券取引所に上場申請。保有する発電所のうち売電を開始しているものはない。
- 21日 各国の法令に準拠した給与支払システムを開発する Deel 社が、シリーズCで1.56億ドルを調達。Y コンビネーターの YC Continuity Fund 等がリード。
- 21日 イスラエルのAPIマーケットプレイス企業 RapidAPI 社が、シリーズCで6,000万ドルを調達。米 Green Bay Ventures がリード。
- 21日 世界的なアボカド需要増加により、イスラエルでは多くの農地において、かんきつ類の栽培がやめられ、アボカド栽培が増加。
- 22日 急速に進むワクチン接種により治験対象者の確保が困難となり、今夏までの承認が期待されていたイスラエル製新型コロナウイルス・ワクチンは、早くとも年末に。
- 22日 東アジアのファンドが、イスラエルの金融情報ポータルサイト Investing.com を5億ドルで買収。同サイトは広告収入で運営され、世界で6,000万人の読者を持つ。
- 22日 イスラエルのフィンテック企業 Pagaya 社が、評価額80億ドルでのSPAC上場の交渉中。IPOも同時に検討している。
- 22日 米/イスラエルのVC Arieli Capital が、Start-Up Nation Central や学術機関、企業とともに、海洋分野に関するイノベーションコミュニティ OceanTech を設立。
- 22日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Deep Instinct 社が、シリーズDで1億ドルを調達。BlackRock がリード。
- 22日 イスラエルのオンライン・往來バシー保護企業 BigID 社が、12月に発表したシリーズDの続きで3,000万ドルを調達。PE企業 Advent International がリード。

- 22 日 イスラエルで創業された不動産データ管理・分析企業 Cherre 社が 5,000 万ドルを調達。上海の PE 企業 Trustbridge Partners がリード。
- 22 日 インシュアテックとフィンテックに投資する Sure-Tech 投資組合が、テルアビブ証券取引所への上場を検討。既に 2 社に投資を執行済。
- 25 日 米国大手投資ファンドブラックストーンがイスラエルに拠点を開設する。レイターのテクノロジー企業に投資する 45 億ドルのファンドから投資を行う。
- 25 日 機関投資家によるスタートアップ投資について損失が生じた場合に最大 40%を保証するイノベーション庁の支援策の下、イスラエルの大手銀行 Hapoalim 銀行が既にイスラエルのスタートアップ 3 社に投資を執行。サイバーセキュリティ領域等。
- 26 日 タマル天然ガス田の 22%の権益を有する Delek Drilling 社が、同権益をアブダビの Mubadala Petroleum 社に 10~11 億ドルで売却する非拘束 MOU に署名。
- 26 日 露セキュリティ企業 Kaspersky 社が世界的に実施した調査によると、イスラエルでは 2021 年初から約 800 万件の RDP 攻撃（テレワーク端末への攻撃）があった。
- 26 日 EIT Hub Israel、ISERD 及び CQ Global が実施した調査によると、イスラエル企業は EU に 912 社存在し、24,233 人を雇用している。
- 27 日 EV 向けモジュラー車体・車輪を開発するイスラエル企業 REE Automotive 社は、日野自動車と業務提携契約を締結。次世代商用モビリティの開発を目指す。
- 27 日 Bloomberg によれば、新型コロナウイルス強靱性ランキングで、イスラエルが世界 53 か国中 4 位に。先月の 5 位から 1 つ順位アップ。急速なワクチン接種が要因。
- 27 日 米国-イスラエル・ビジネスアライアンスによれば、創業者にイスラエル人を含むカリフォルニアに本社を置くユニコーン企業が 22 社に達する。
- 27 日 仮想モバイルウォレットを開発するイスラエル・スタートアップ ZenGo 社が、シリーズ A で 2,000 万ドルを調達。米 Distributed Global がリード。
- 27 日 旅行サイトを通じた賃貸物件マネジメントを手がけるイスラエル企業 Guesty 社が、シリーズ D で 5,000 万ドルを調達。米 Apax Digital Fund がリード。
- 27 日 植物性代替肉を開発するイスラエル・スタートアップ Chunk Foods 社が、プレシードラウンドで 200 万ドルを調達。米 Stray Dog Capital 等がリード。
- 27 日 イスラエル外相とアゼルバイジャン経済相がオンライン会談。アゼルバイジャンはイスラエルに観光・貿易事務所開設の意向を表明。水資源・農業等の協力も確認。
- 28 日 イスラエルの医療用大麻吸入器開発 Syqe Medical 社が、カナダの保健当局より、同社製品の同国での販売承認を取得。治験は基本的にイスラエルで実施された。
- 28 日 土に還る包装材を開発するイスラエルのクリーンテック企業 Tipa 社が、評価額 5 億ドル以上での SPAC 上場を検討中。2010 年設立で、従業員約 50 名。
- 28 日 e モビリティ向け電気パワートレインを開発するイスラエル・スタートアップ IRP Systems 社が、シリーズ C で 3,100 万ドルを調達。イスラエルの保険大手 Clal Insurance 社等がリード。
- 28 日 エネルギー・通信・水等の施設を建設する際のデジタル管理システムを開発するイスラエル・スタートアップ Locusview 社が、シリーズ A で 6,400 万ドルを調達。
- 29 日 インテル・イスラエルは今年 1,000 名の技術者を採用すると発表。子会社の Habana Labs も別途 400 名の AI チップ技術社採用を発表済。また、インテル・イスラエルは、2 億ドルをかけてハイファに新たなビルを建設することも発表。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 2020年の成長率は-2.6%成長（最終推計）

中央統計局は、2020年の経済成長率がマイナス2.6%成長だったと発表した。前回推計のマイナス2.4%よりわずかに悪化したものの、中央銀行の予測値であるマイナス3.7%を上回った。民間消費は-9.5%。

第4四半期でみると6.5%のプラス成長で、前回推計の6.4%からわずかに上方修正された。

出典：イスラエル中央統計局、報道 Globes

https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2021/130/08_21_130b.pdf

<https://en.globes.co.il/en/article-israels-economy-shrank-26-in-2020-in-final-revision-1001367889>

2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

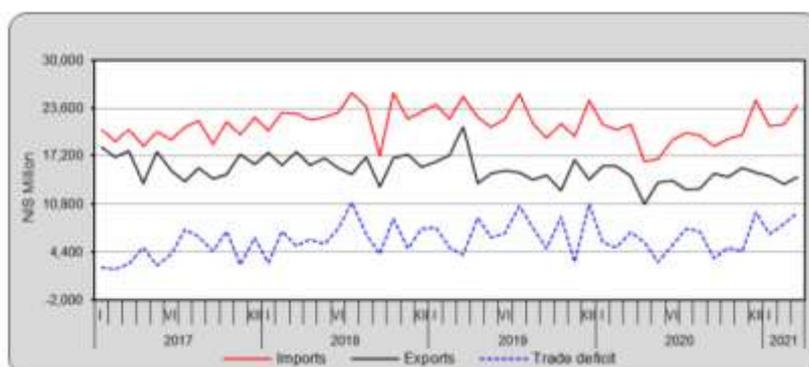
● 2021年3月の貿易赤字は97億NIS

中央統計局の発表によれば、2021年3月の物品輸入は240億NIS、物品輸出は143億NISであり、貿易赤字は97億NISであった。

物品輸入の41%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、29%が消費財、17%が機械装置・陸上輸送機、13%がダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸入は直近3カ月で年率18.7%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の91%を占め、6%がダイヤモンド、残り3%が農林水産品。物品（船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く）の輸出は直近3カ月で年率14.1%減少。工業製品輸出（ダイヤ除く）のうち39%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率7.4%減少。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局

https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2021/131/16_21_131e.pdf

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 3月の失業率は4.7%前月比減。新型コロナ関連の休職者も大幅減。

中央統計局は、2021年3月の失業率は4.7%であり、前月比0.3%減だったと発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	2月	3月
失業者 (率)	200,100 人 (5.0%)	192,200 人 (4.7%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数 (率)	567,600 人 (14.0%)	384,900 人 (9.5%)
3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数 (率)	698,500 人 (16.7%)	494,000 人 (11.8%)

出典：イスラエル中央統計局

https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2021/132/20_21_132e.pdf

4. 消費者物価指数 (CPI)

- 3月期のCPIは0.6%増

中央統計局の発表によれば、2021年3月期の消費者物価指数は前月比0.6%増。

特に価格上昇が著しかったのは、被服(5.8%高)、文化・娯楽(2.2%高)、交通費(0.9%高)、家具・家庭用品(0.8%高)。一方、価格下落が著しかったのは、野菜・果物(1.5%低)。

年初からのCPIは0.8%上昇しており、過去12か月間でも0.2%上昇しているが、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%~3%は下回る。

中央統計局は、1-2月期の住宅価格指数も公表。2020年12-2021年1月期に比べて0.3%上昇した。前年同期比では4.0%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局

https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2021/128/10_21_128e.pdf

https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2021/127/10_21_127e.pdf

5. 政策金利 (INTEREST RATE)

● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

4月19日、イスラエル中央銀行政策決定会合は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

イスラエル経済は、3度目のロックダウン（経済封鎖）からの出口の後、急速に回復している。ワクチン接種プログラムの有効性により、罹患率は急激に低下し、諸活動に対する制限を幅広く緩和することができるようになった。

3月の経済活動に関する利用可能な指標は、危機開始以後最も高い水準を示している。また、制限によって特に大きな打撃を受けた産業の活動も顕著に増加している。

広義の失業率は、3月前半には12%にまで低下した。3月末及び4月のデータでは、広義の失業率がさらに低下していることが期待できる。中央統計局が実施したビジネス傾向調査によれば、労働者の採用が難しいと報告する企業が急増しており、また報告されている求職数も明らかに増加している。

中央銀行リサーチ部門のスタッフは、2021年にGDPは6.3%成長すると予測している。広義の失業率は、2021年末までに7.5%に低下すると予測される。2022年には、成長率は5%が見込まれ、したがって2022年のGDP水準は危機前に予想されていた水準をわずかに約1.4%下回るだけである。2022年の失業率は低下し続けると予想され、同年第4四半期には約6%となるだろう。これは、危機前の水準よりはそれでも高い。

物価上昇環境は引き続き低いが、緩やかに上方傾向を続けている。CPIは、2月に0.3%上昇し、3月には0.6%上昇しており、いずれも予想を上回った。過去12か月間の物価上昇率は0.2%である。あらゆるソースで来年の物価上昇率は上昇すると見込まれており、ターゲット幅の下限付近と予測される。中長期の予測はターゲット幅内に収まる。

前回の政策決定会合以来、シェケルは実行為替レート及び対ユーロで1%高くなったが、対ドルでは0.4%安くなっている。

株式市場の株式発行ペースは引き続き高く、ベンチャーキャピタル産業における資金調達は第1四半期に急増している。中央銀行と財務省の様々な措置の効果もあり、与信市場は安定した低金利でよく機能を続けている。危機の開始以来初めて、2月と3月には、銀行融資を受けることが難しい答える企業の平均割合はホテル以外の全産業で減少しており、危機前の水準に戻った。

世界中のワクチン接種ペースの加速により、世界経済は回復しつつある。IMFは、主要地域全てで成長率の予測を上方修正した。世界貿易は成長を続けており、危機前の水準よりも高くなっている。主要地域全てで物価は上昇しているが、コアとなる指標は各中央銀行のターゲットよりも低いままである。主要な中央銀行の金融政策は依然としてきわめて緩和的である。

イスラエルにおける経済再開と通常的生活への復帰は、引き続き高い成長につながるものと期待される。しかしながら、イスラエル国内外において、健康リスクの観点からは、経済活動に対する課題がまだ残っている。危機の経済、特に労働市場に対する負の影響は、まだ続くと思われる。そのため、政策決定会合は、金融政策の目標を達成と危機からの経済回復を支援するため、また金融市場の秩序ある機能を引き続き維持するために、政策金利手段を含む幅広い手段を必要な限り用い、当面の間は非常に緩和的な金融政策を続けることとする。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は5月。

出典：イスラエル中央銀行

<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/19-04-21.aspx>

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 4月の為替相場はシェケル高基調で推移

4月上旬の為替相場は、総選挙の結果からによる政治的不安定さへの懸念にもかかわらず、IMFがイスラエルの成長率を上方修正したことを受け、連続してシェケル高の展開となった。

中旬以降になっても、中央銀行の成長予測が好感をもって受け止められたこともあり、シェケル高基調が続いた。



出典：報道・グローブス紙

<http://www.globes.co.il/en/market.tag>

グラフ出典：中央銀行・4月のドルシェケル相場推移

<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F04%2F2021&DateEnd=30%2F04%2F2021>

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● 3月の外貨準備高は1,857億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、3月末時点の外貨準備高は、前月比6.4億ドル増となる1,857億ドルであった。GDPの46%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入（19.83億ドル）、民間移転（0.07億ドル）、政府移転（3.39億ドル）。一方、評価替（16.94億ドル）による一部減少も見られた。

出典：イスラエル中央銀行

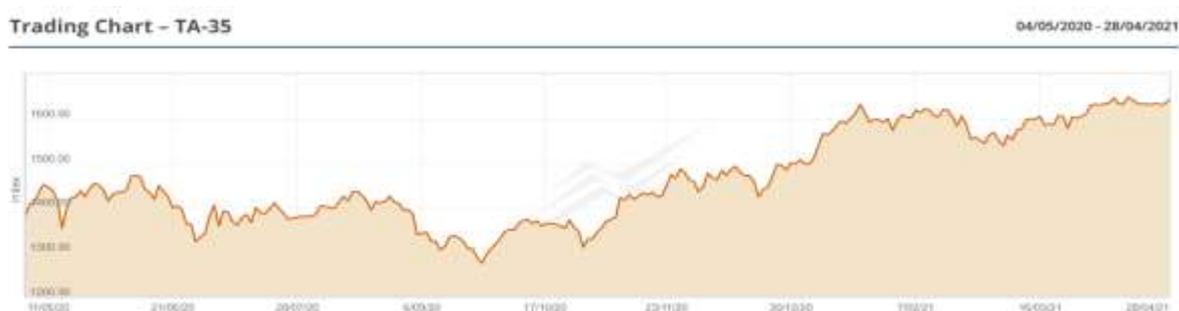
<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-4-21.aspx>

8. 主要株価推移（TA35）

● 月間推移



● 年間推移



● 4月のテルアビブ証券取引所（TASE）関連ニュース

28日、TASEは二重上場企業に関するインデックスTA-Dual Listingを創設。また、株式、転換社債、新株予約権から構成されるインデックスInsurance Shares and Convertiblesをアップグレード。

出典：テルアビブ証券取引所

<https://www.tase.co.il/en>

イスラエル経済関係記事

スタートアップ投資 投資額は記録を更新するも、ブーム終焉を警戒

イスラエルの調査会社 IVC Research Center 社と法律事務所 Meitar Liquornik Geve Leshem のレポートによると、2021 年第 1 四半期のイスラエルのテクノロジー企業への VC 投資は過去最高だが、この傾向が続くことは期待できない。

2021 年の最初の 3 か月で調達された資金は計 54 億ドルで、過去最高だった昨年第 4 四半期に比べて 89% 増、昨年第 1 四半期に比べると 2 倍となった。急増の理由はシンプルで、1 件当たりの金額が大きくなったことである。件数自体はほとんど変わらず、2020 年第 4 四半期 173 件に対し、2021 年第 1 四半期は 172 件。今年第 1 四半期の平均調達額は 3,100 万ドル、中央値は 1,000 万ドルであり、2020 年第 4 四半期の倍にあたる。

新型コロナウイルスの蔓延以降の投資の高まりを享受している成熟企業と異なり、シードステージの若い企業は投資の減速に苦しんでいる。しかし、シード投資が低調だった 2020 年第 3 四半期以来、シードラウンドは増え、パンデミック前の水準を上回っている。2020 年第 1 四半期及び第 3 四半期には、シード投資はそれぞれ計 3,800 万ドルと 4,000 万ドルだったが、2020 年第 4 四半期には 9,300 万ドル、2021 年第 1 四半期には 1.01 億ドルとなった。中央値をみると、2020 年第 2 四半期に 12 万ドルだったものが、今年第 1 四半期には 185 万ドルとなっている。

シード投資の回復以外に、2021 年第 1 四半期はメガラウンドの四半期となった。1 億ドル超の投資ラウンドで調達された合計額は、以前のピークのほぼ 3 倍になっており、この四半期で調達された合計金額の 55% を占めている。5,000 万ドル超の投資件数は、前四半期の 2 倍以上となっている。

しかしながら、同レポートは、このパーティーは続かないと警告する。イスラエルのテクノロジー・スタートアップへの投資は、ウォール・ストリートにおける高成長企業への投資との連関が強い。最近になってウォール・ストリートの雰囲気は変わってきており、成長企業の中で最も有名な企業の中には時価総額を 30~40% 落とすものもあり、上場しているテクノロジー企業の株価がバブルの水準にあるのかどうかという疑問を提起していると、同レポートは述べる。そして、今年第 2 四半期及び第 3 四半期のイスラエル・スタートアップへの投資が第 1 四半期の記録を更新する可能性は低い、と結論している。

同レポートはまた、第 1 四半期に調達された金額の大部分が、フィンテック及びサイバーセキュリティ企業によるものであることを指摘している。両分野の企業による調達額は、全体の 47% を占める。

外国からの投資割合も増加している。2019 年以来、外国投資家による投資件数はイスラエル投資家によるものよりもずっと大きく、約 20% 上回っているが、2021 年第 1 四半期にはその差はほぼ 50% になっている。「イスラエル」投資 403 件に対し、外国投資家による投資は 594 件である。

出典：報道 Globes

<https://en.globes.co.il/en/article-report-sees-startup-investment-boom-ending-1001367121>

ハイテク ハイテク産業は慢性的な人手不足にあえいでいる

イノベーション庁と Start-Up Nation Central (SNC) が発表した「2020 High-Tech Human Capital Report」によると、イスラエルのハイテク・スタートアップの60%以上が研究開発部門の人員採用に困難を感じている。同レポートによると、イスラエルのハイテク産業は2020年現在334,000人の従業員を擁しており、これは国全体の全従業員の9.8%を占め、2019年321,000人より増加している。また、イスラエルには13,000人分のテクノロジー職の求人があるが、これは2019年より30%減少している。しかしながら、イノベーション庁の成長部門を率いる副長官 Sagi Dagan 氏は述べる。「我々は、市場は慢性的な人手不足にあるとみており、この1年での求人数の減少は良くない。」

Wiz 社の共同創業者兼 CEO の Assaf Rappaport 氏は、可能なら労働力を5倍に増やしたいし、他のどのテクノロジー・スタートアップも同じような状況だと語る。「イスラエルのガラスの天井は資金ではなく、マンパワーだ」

インテルもエヌビディアも最近、来年イスラエルで1,000人の従業員を追加採用する意向を表明し、105億ドルの評価額で SPAC との合併による上場を最近発表した eToro 社も、今年約500人を雇用したがっており、そのうち250人はイスラエルで採用するという。同社は、最近1,200人を採用したばかりであり、そのうち800人はイスラエルである。スタートアップの Plipos 社も追加で200人を採用しようとしており、SPAC 上場を目指す Payoneer 社も、既に雇用している1,800人（うち1,100人がイスラエル）に加え300人を採用予定だ。マイクロソフトのイスラエル研究開発センターはこの1年で人員を25%増やしており、現在2,100人を雇用しており、さらに120人を求人中だ。

しかし、同レポートによれば、2020年はイスラエルのテクノロジー産業にとっては素晴らしい年で、多くの従業員も給与の増加という恩恵にあずかった一方、新型コロナウイルス禍によって、女性、アラブ系、そして超正統派をテクノロジー産業に取り込むということ数年のポジティブな傾向がとまってしまったという。2020年にイスラエルでテクノロジー企業を創業した女性の数は減少しているし、全ハイテク従業員に占める超正統派の割合は5年連続増加の後に停滞している。また、アラブ系ハイテク従業員全体の数に占めるアラブ系女性の割合は、42%から32%へと10%減少した。

Dagan 氏は述べる。「こうした打撃は、ハイテク産業の中では給料が低い仕事で主として生じた。それでも、その給料はその他の産業よりはまだ高いとはいえ。企業にとっての財産である研究開発職は解雇されなかったが、比較的給料の低い超正統派やアラブ系従業員が苦境に陥った。」

2020年はまた、多くの小企業（従業員10名以下）にとって良いとはいいがたい年だった。こうした企業の3社に1社は、危機によって重大な打撃を受けていると報告している。小企業は危機の間に採用活動を凍結した割合はるかに多く、また経験あるテクノロジー従業員の数を減らした唯一のカテゴリーであった。

SNC の共同ゼネラル・マネージャーの Uri Gabai 氏は述べる。「ハイテクにおける人的資源の不足は、世界的危機の年においても大きな問題である。それはつまり、人手不足が慢性的なものであるということだ。」

しかしながら、このトンネルが終わる光もみえているかもしれない。同レポートによれば、イスラエルの大学のコンピューターサイエンスの卒業生の数が、年間4,200人から6,200人に大きく増えているのだ。

出典：報道 CTech by Calcalist

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3905770,00.html>

日イスラエル経済関係記事

自動車 日野自動車が REE 社と業務提携契約を締結

日野自動車と電動モビリティの革新企業である REE Automotive 社（以下 REE 社）は、両社が共有する「次世代商用モビリティを通じた社会への新たな価値提供」というビジョンの実現に向けた業務提携契約を締結した。

CASE※の進展を背景に、自動車業界は大変革期を迎えている。日野自動車と REE 社はこの変革の先に、商用車の社会インフラとしての役割が「人・モノの移動を支える」クルマから、「移動により新たな価値・機会を提供する」モビリティへと進化する未来を描いている。日野自動車と REE 社の次世代商用モビリティは、CO2 排出量の削減、インフラへの負荷の最小化、交通渋滞の緩和、企業の経営資源の最適配分などにより、新たな社会的価値を提供し、世界中の人々の生活の質の向上に貢献する。このビジョンの実現に向け、日野自動車の「商用車メーカーとして顧客に寄り添い課題解決してきた知見・技術」と、REE 社の「イノベティブで高い競争力を持つ独自の EV 技術"REEcorner™"」という両社の強みを掛け合わせ、次世代商用モビリティによるソリューションを通じた新たな価値の創造に取り組む。

※Connected（コネクティッド・接続性）、Autonomous（自動運転）、Shared（シェアード・共有）、Electric（電動化）

両社が共創するソリューションの基軸となる次世代商用モビリティは、モジュール構造となっており、REE の EV プラットフォームを採用した動力部分（シャシモジュール）と、用途に応じて最適に設計された荷室空間（サービスモジュール）で構成されている。人や物、そしてサービスを運ぶサービスモジュールは、顧客のニーズに合わせた様々な提案を可能とし、モビリティ起点のデータを組み合わせることによって社会に新たな価値を提供する。また、サービスモジュールは、シャシモジュールから簡単に脱着することができ、独立したユニットとして物やサービスを届ける一方、シャシモジュールは単独で稼働して他のサービスモジュールの動力として活用することができる。MaaS（Mobility as a Service）やラストワンマイル物流での活用はもちろんのこと、このモジュール構造により全く新しい提案ができると考えている。REEcorner™ を活用したフラットなシャシモジュールと、サービスモジュールそれぞれの稼働を最適化することで、生活者の多様なニーズに応えると同時に、お客様の経営資源の有効活用にも貢献する。

両社が共同開発する EV シャシは、主要コンポーネントを一つのシステムに統合しホイールとシャシの間に設置する REEcorner™ テクノロジーを活用する。低床・フラットで顧客のニーズにフレキシブルに対応し、自動運転にも対応する。モジュール構造とすることで拡張性を持たせ、サービスモジュールは顧客との共創を前提としている。

まずは 22 年度までにハードのプロトタイプを開発し、並行してビジネスモデルの検討・実証実験を進める。

日野自動車の下社長は、「今回の協業は 2019 年の東京モーターショーで日野自動車が提案した『FlatFormer』コンセプトが起点となっている。大きな反響をいただいたこのコンセプトが、さらに実現に近づくことを私自身が大変嬉しく思っている。ビジョナリーな企業である REE 社との協業は、将来の社会のありかたと調和する、商用モビリティの新たな価値創造に挑む大きな力になるものと信じている」と語った。

REE 社のダニエル CEO は、「2019 年の東京モーターショーで示された『FlatFormer』は、未来の電動モビリティのターニングポイントであったと確信しており、日野自動車の先見性のあるチームとのエキサイティングなパートナーシップのきっかけだった。今回のパートナーシップは、革新的な次世代商用 EV の開発・提供により世界中の人々の生活の質を向上させるという、共通の使命を果たすためのまたとない機会だと考えている」と語った。

両社は今後、志を同じくするパートナーとともにオープンに取り組み、新たな価値を創造し社会に提供していくことを目指す。

出典：プレスリリース

<https://www.hino.co.jp/corp/news/2021/20210427-002886.html>

エンジン TPR が Aquarius Engines 社に出資

TPR は、イスラエルのスタートアップ企業で、新種エンジン開発に独自技術を持つ AQUARIUS Engines 社（以下「AQUARIUS 社」）と、昨年 10 月の出資に続き、事業提携に向けた合意書（MOU）を締結した。この MOU 締結により、両社は AQUARIUS 社エンジンの共同事業化に戦略的パートナーとして取り組んでいく。

AQUARIUS 社は、従来のエンジンとは異なり、超小型化・低コスト化・高効率化を実現したフリーピストン・リニアエンジンによって、発電機市場への展開及び様々な電力供給ソリューションの提供を目指している。また、同社の技術を水素燃料に適合させることや、車載発電の適用にも取り組んでいく計画である。

出典：プレスリリース

<https://www.tpr.co.jp/pdf/20201030AQUARIUS.pdf>

デジタルフォレンジック サン電子連結子会社 Cellebrite 社が SPAC 上場へ

サン電子は、取締役会において、イスラエルの連結子会社である Cellebrite 社がナスダックに上場する特別買収目的会社（SPAC）との合併によるナスダック上場を目的に、株式譲渡契約等を締結することを決議した。

同社は 2001 年に創業され、外部からの資金調達を行わずに成長し、2007 年にサン電子が 1,700 万ドルで買収。その後、同社にとっての初めての資金調達ラウンドとして、2019 年に Israel Growth Partners (IGP) が 4.4 億ドルの評価額で 1.1 億ドルを投資。

本上場により、Cellebrite 社は 5.8 億ドルの現金を手に入れる見込み。企業評価額は 24 億ドル。この取引実行により、サン電子は税前で約 2.8 億ドルの資金を手に入れ、Cellebrite 社普通株式保有割合は約 43.2%となる予定。同社の取締役会議長には、サン電子取締役の内海龍輔氏に代わり、IGP の共同創業者兼 Cellebrite 社の現取締役の Haim Shani 氏が就任する予定。

サン電子は、今期の経営体制変更以降、事業全体の効率化を図るため、業務資本提携、不採算部門の整理、本社機能のスリム化等の事業構造改革を進めてきた。その結果として、2021 年 3 月期の通期業績予想において営業利益、経常利益ともに黒字の予想を公表している。同社は、今後より一層の企業価値の最大化を目指すべく、同社主力事業である Cellebrite 社の更なる事業成長を促すための資金調達、及び同社の新たな事業の柱を創出するための事業投資を従前より検討してきた。Cellebrite 社は、イスラエルの本社を開発拠点とし、携帯端末のデータ抽出・解析・レポートを行うソリューションとして、ソフトウェア及び同国の自社工場にて生産したハード商品を、同社の営業子会社及びサン電子を通じて、各国の法令に基づく調査を担う公共安全機関や民間企業を含む機関に対して提供し、効率的な事件処理をサポートしてきた。また、Cellebrite 社は、サン電子グループにおいて売上と利益がともに最大の子会社であり、政府等公共安全機関との関係を構築する上で重要な役割を担ってきた。そのなかで、サン電子の事業構造改革の見通しがたったこと、ソフトウェア企業に対する評価が高いナスダック市場のマーケットが活況であること、また 2020 年初等より米国株式市場で広がりを見せている非上場の事業会社と SPAC との統合による上場及びそれに伴う資金調達手段がマーケットからも認知されてきたことから、Cellebrite 社の SPAC との統合によるサン電子の企業価値の極大化、及び新規事業投資のための資金調達を目的に、本取引の選択に至った。

出典：プレスリリース、報道 CTech by Calcalist

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6736/tdnet/1952204/00.pdf>

https://www.sun-denshi.co.jp/ir_info/download/%E8%A3%9C%E8%B6%B3%E8%AA%AC%E6%98%8E%E8%B3%87%E6%96%99_210409.pdf

<https://en.globes.co.il/en/article-cellebrite-to-list-on-nasdaq-at-24b-valuation-through-spac-1001366821>

IT Redis Labs 社が 1.1 億ドル資金調達。ソフトバンクも参加。

イスラエルのデータベース・ソフトウェア開発 Redis Labs 社は、新たな投資家となる Tiger Global がリードする資金調達ラウンドを 1.1 億ドルで終了し、企業評価額を 20 億ドル以上としたことを発表した。シリーズ G となる今回の投資ラウンドには、同じく新規投資家となるソフトバンク・ビジョン・ファンド 2 及び既存投資家の TCV も参加。加えて、Tiger Global、ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2 及び TCV は、2 億ドルのセカンダリー取引の一環として、追加的な株式も取得した。

Redis Labs 社の CEO である Ofer Bengal 氏は述べる。「今回の投資ラウンドで、何人かの初期投資家が株式を売却した。当社には、当時 500 万ドルの評価額で投資をしてくれたエンジェル投資家が何人かおり、彼らにとっては今回のラウンドは投資資金を 20,30 倍にできたエグジットとなる。しかし、全員がいくばくかの株式を保有し続けており、全株式を売却した者はいない。」

Redis Labs 社は Bengal 氏及び Yiftach Shoolman 氏 (CTO) が 2011 年に創業。現在までに純額で 3.47 億ドルを調達しており、引き続き、世界拠点の拡大、市場をリードするリアルタイムのデータプラットフォームの改善、世界クラスの顧客サポートの実施に資金を投じていく。全世界で 500 人の従業員を擁し、今年新たに 200 人の雇用を計画している。そのうち半分は、現在従業員 150 名のイスラエルにある研究開発センターに加わる予定だ。同社の既存株主には、Bain Capital Ventures、Francisco Partners、Goldman Sachs Growth、Viola Ventures、TCV 及び Dell Technologies Capital がいる。

Bengal 氏は述べる。「多くの投資家から大きな投資需要があったが、我々が今回の投資家を選んだ理由は、彼らが一緒に IPO に参加してくれ、その後も引き続き一緒にやってくれるプレイヤーであり、そうしたタイプの投資家とともに働きたかったからだ。SPAC 上場のオファーもあったが、まだ当社には早すぎるので、今回の資金調達ラウンドを持つにいった。我々の業界で最も大事なことは急速に成長することであり、市場からもそれを求められ、当社もそのルートに乗っている。当社は現在多額の資金を使っており、そのため利益を出していない。このことは、上場しようという際には非常に注意しなければならない。私としては、引き続き非上場企業として成長したいと考えており、もし市況が良ければ来年に上場するつもりである。もし市場の熱が冷めれば上場を少し待たせようが、待つための資金は十分にある。ほんの 6 か月前に 1.0 億ドルを調達したばかりだし、さらに今回 1.1 億ドルを調達し、口座には 2.3 億ドルあるので、上場のタイミングを決めるだけの贅沢をする余裕がある。」同氏は続ける。「1 億ドルは、当社の新たな投資家にとって大きな投資金額ではなく、彼らはもっと投資したがった。しかし、株式をあまり希薄化させたくなかったので、この金額で十分だと判断した。」

同社によれば、2021 年 1 月までの過去 3 年間で、CAGR で 54%以上の売上増加を経験しており、有料の顧客はフォーチュン 100 企業の 31%を含め 8,000 社ある。売上継続率 (NNR) は 120%以上。

ソフトバンクの投資顧問 Vikas Parekh 氏は述べる。「業務量がクラウドに移行しているが、我々は Redis Labs 社がデータベース市場を変革するリーダーであると信じている。開発者と AI アプリケーションという強い基盤により、同社は世界の企業がデジタル経済において競争するために不可欠な存在となっている。」

出典：プレスリリース、報道 CTech by Calcalist

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3903416,00.html>

<https://redislabs.com/press/redis-labs-110-million-series-g-led-by-tiger-global/>

IT サムライインキュベートが Fugu Risk 社に出資

創業期のスタートアップから出資・インキュベーションを行うサムライインキュベートは、運営する「Samurai Incubate Fund6 号投資事業有限責任組合」より、Fugu Risk 社（以下「FUGU 社」）への出資・成長支援することを決定した。

●FUGU 社について

FUGU 社は、EC 事業者向けに購入後に購入者の信用調査を行うことで正確なリスク分析ができ、また購入者の情報を自動管理することでクレーム対応などのプロセスを自動化することができる SaaS を提供するイスラエルのスタートアップである。

昨今の新型コロナウイルスの影響や D2C (Direct to Consumer) の拡大により、EC 市場は年々成長している一方、様々な課題も顕著になってきている。例えば、自前のブランドを運営する個人事業主や中小企業では、全ての取引対応においてマニュアル作業で行いながら配送にかかるオペレーションやロイヤルティーフィーを減らす努力を地道に続けているため、非効率であるケースが多く存在する。また、決済時に本当は支払い能力がある顧客にもかかわらず、リスク分析が不十分なために不要に排除している取引ケースが全体のトランザクションのうち 2.5%程あると言われている。

FUGU 社が提供する「FUGU」は、返品やクレーム対応などのエビデンス収集を自動で行い、作業効率化を支援するだけではなく、POS (Point of Sale) 時点での情報を基に支払い能力を推測するサービスと比べ、購入者の決済後のアクションなどをトラッキングすることでより正確なリスク分析をすることができるサービスである。基本無料で提供する「フリーミアムプラン」を用意しているほか、EC プラットフォームの「Shopify」

「Magento」「Wix」との統合も完了しており、現時点で延べ 140 万以上の事業者が簡単にセルフオンボーディングできる設計を実現している。イスラエルの家電量販店 ELIAS と実施した PoC (実証実験) では、月間売上が 4.3%増加する結果となり、本契約締結 (有料顧客化) している。

今後 FUGU 社では、2021 年末までに更なる EC プラットフォーマーとの統合を進め、延べ 560 万以上の事業者にリーチできるようにすることで、タッチポイントを拡大していく想定である。

サムライインキュベートは 2014 年にイスラエルへ進出してから継続してイスラエルスタートアップの支援を実施している。イスラエルにはグローバルで再現性が高い技術を持ったスタートアップが多数おり、当社が事業を展開・連携しているエリアとの親和性も高いと考えている。今後も継続したスタートアップの成長支援を進めていく。

今回の投資は、FUGU 社によるシードラウンドで、複数の投資家からの投資額は合計で約 60 万ドルと見られる。

出典：プレスリリース、報道 CTech by Calcalist

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000165.000014738.html>

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3897952,00.html>

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント等の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※イスラエル政府による陸路を含む一日当たりの入国者数制限（3千人まで）については、3月下旬に解除されています。また、4月中旬より、新型コロナウイルス・ワクチン接種証明書又は新型コロナウイルスからの回復証明書を所持する方が、イスラエル側の受入企業を確保した上で、その訪問の目的がイスラエル国の経済的観点から重要であり、かつ、緊急性のある場合に限り、入国申請を行うことが可能となる制度の運用が開始されています。いずれにしろ、日本からイスラエルへの短期ビジネス目的での渡航・入国が認められる可能性は極めて低いとみられます。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

日時変更！ **観光** **IMTM2021 - 27TH INTERNATIONAL**

MEDITERRANEAN TOURISM MARKET（2021年2月9日～6月16日、オンライン、**10月26～27日**、テルアビブ）

イスラエル最大の観光博。昨年は世界57か国が展示を行い、約27,000人が参加。今回は、長期間のバーチャル開催と2日間の実際の会場での開催を組み合わせ実施。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

**サイバーセキュリティ THE SECOND EDITION OF CYBERTECH GLOBAL
UAE DUBAI** (2021年5月28～30日, 場所不明)

サイバーセキュリティの国際会議、展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界、政府政策決定者、技術専門家等が世界から訪れる。

世界各地で実施される CyberTech の旗艦イベントであり、例年テルアビブで実施されるが、今回はドバイで実施される。4月に実施すみだが、その第二回が5月にも開催される。

<https://cybertechconference.com/>

NEW! 医療/歯科 INNODENTECH ISRAEL (2021年6月15～16日, オンライン)

イスラエルの歯科技術関連バーチャルシンポジウム兼展示会。インプラント学、歯科口腔外科、歯周病学、再生ソリューション、修復ソリューション、歯内療法、歯科矯正学から、口腔内スキャナー、AI および拡張現実ソフトウェアを備えたデジタル歯科学、口腔内の傷や予防のための革新的なソリューションを備えた口腔ケアまで、関連技術を紹介。

<https://innodentech2021.israel-expo.co.il/expo/about>

サイバーセキュリティ CYBERWEEK (2021年6月19～22日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催するサイバーセキュリティに関するイベント。一週間にわたり、メイン会場での学術会議に加え、ラウンドテーブルやパネルディスカッションなど多様なサイドイベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/2020/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021 (2021年9月2日, テルアビブ)

モバイルアプリ、ゲーム、アドテクに関する国際イベント。カンファレンスの他に、スタートアップコンテストも開催され、希望者には1対1ミーティングもセッティングされる。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

ナノテク NANO.IL.2021 (2021年10月4～6日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。2021年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

エレクトロニクス NEW TECH EXHIBITION (2021年10月5～6日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で, 150社以上が展示, 数千人の来場者を見込む。対象分野は, クリーンルーム装置, 電子光学品, レーザー, 光ファイバー, レンズ, カメラ, 試験用機器, プリント基板, 筐体, 電子機械器具, 周辺機器, 組込みシステム, モーター, ロボティクス, 通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

インダストリー-4.0 INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY (2021年10月5日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される, インダストリー4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

光学 OPTO TECH 2021 (2021年10月5～6日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される, 電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

技術移転 ITTN - THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION (2021年10月11日, テルアビブ)

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。今回第6回。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

医療機器 THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT (2021年10月11日, テルアビブ)

医療機器（ハードウェア及びソフトウェア）に特化したカンファレンス。第2回となる今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

電機 RAX (2021年10月19~21日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

空調 ACLIMA (2021年11月2~4日, テルアビブ)

空調・冷蔵・暖房・換気システムに関する展示会。今回25回目の開催。

<https://www.stier.co.il/aclima/en/>

モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2021 (2021年11月8~9日 (場所未定))

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

食品 ISRAFOOD (2021年11月16~18日, テルアビブ)

イスラエルの食品・飲料に関する展示会。メーカーや輸入業者、小売事業者等を対象とする。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

ホテル HOTEX-KITEX (2021年11月16~18日, テルアビブ)

ホテルやレストラン産業の器具・サービス・技術に関する展示会。今回37回目。

<https://www.stier.co.il/hotex/en/>

投資 TEL AVIV ANNUAL INSTITUTIONAL

INVESTMENT CONFERENCE (2021年11月23日, テルアビブ)

数百の機関投資家が集まる国際会議。

<https://tlvii.com/>

化学 ISRACHEM (2022年5月16~17日, テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回17回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchim/en/>

実験器具 ANALIZA (2022年5月16~17日, テルアビブ)

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

スタートアップ 2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT

(2022年, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型VCであるOurCrowdによる年次イベント。OurCrowdの投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020年は186か国から23,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

デジタルヘルス **DIGITAL HEALTH.IL**（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シエバメディカルセンターイノベーションセンター）, Israel Advanced Technology Industries が主催。過去 5 年では、毎回 700 名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

UX **UX SALON 2020**（時期未定）

UX デザイナーによるコミュニティである UX Salon の年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

イノベーション **LAHAV EXECUTIVE EDUCATION**（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね 1 週間のプログラムで、個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>